

<h1>週 報</h1>	2023年2月5日 第45号 (創立1907年12月8日) 日本基督教団洛北教会 主任牧師 岡本知之 牧師 森里信生	〒603-8146 京都市北区鞍馬口通寺町西入下ル 285-83 Tel 075(231)6676 Fax (223)5505 http://rakuhoku-church.com
--------------	---	--

<p>受難節前第3主日</p> <p>前 奏 礼拝招詞 讃 美 主の祈り 使徒信条</p>	<p>10時45分</p> <p>司式 井上 直 奏楽 中西百合</p>	<p>礼拝招詞</p> <p>いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。</p> <p style="text-align: center;">テサロニケの信徒への手紙一 5章 16～18節</p>	<p><今週の集会></p> <p>*聖書研究・祈祷会 8日(水) 聖書研究 岡本知之牧師 コヘレトの言葉7章7～14節 10時半 司会 大濱計介 19時半 祈 祷 会</p> <p>*「説教黙想」を読む会 11日(土) 14時～</p>
<p>聖書朗読 間 奏 祈 祷 説 教 讃 美 聖 餐 讃 美 献 金 報 告 頌 栄 祝 祷 後 奏</p>	<p>マルコによる福音書6章14～29節 (新約聖書71頁)</p> <p>「空っぽ」 205 (1節、2節)</p> <p>205 (3節、4節) (感謝と献身のしるし)</p> <p>541</p>	<p><本日の礼拝奉仕者></p> <p>*配餐 北村康二 岸本祐子 中西和樹 田中 颯 西村温美 太田 稔</p> <p><本日の集会></p> <p>*青年会5分間集会 礼拝直後 *定例役員会 礼拝後</p>	<p><報 告></p> <p>*一年で最も寒い季節ですが、換気のため、礼拝中も扉を開けてあります。寒さ対策のため、どうぞ上着を着用のまま、礼拝をお守り下さい。</p> <p>礼拝はYouTubeで配信されています。少しでも健康に不安のある方は、ご家庭にて共に礼拝をお守り下さい。</p>

＜説教黙想＞

「空っぽ」

マルコは、ヨハネを獄につないでおきながら、悩みつつもなお進んで彼の言葉に耳を傾け、彼を王妃の殺意から守っているヘロデの矛盾した姿を伝えている

狡猾な権力者ヘロデは、良心の悩みからヨハネを殺すことができないでいた。そもそもヘロデがヨハネを逮捕投獄したのは、燃え盛っている反ローマ的なメシア運動によって不穏な状況にある自分の領地ガリラヤで、民衆に対するヨハネの巨大な影響力を恐れたからであろう。ヨハネをメシアであると考え人々もかなりいたようであるから、ヨハネを処刑すれば騒乱は避けられないと心配したのは当然である。ヘロディアの娘の願いに応じてヨハネを処刑する決断をするときに悩んだのは、良心の悩みではなく、騒乱の心配からの悩みであったのであろう。いずれにせよ宴会の一場の余興の褒美に、神の人の血塗られた首が提供されたのである。想像するだけでも吐き気をもよおす光景である。これは、権力の維持のためには人間の生命や尊厳を塵のように軽んじる権力者の冷酷、自分の虚栄を傷つける者に対する女の憎悪や情念、道理を焼き尽くす恋情の炎、そして何よりも自分の思いを貫くために神を憎み退ける人間の傲慢、こうした人間性に巣くうあらゆる罪が凝集して現われた光景である。

まことに、イエスがヨハネについて言われたように、「エリヤは来たが、彼について聖書に書いてあるように、人々は彼を好きなようにあしらったのである」(マルコ 9 章 13 節)。この世は神を恐れることなく、自分の本性にしたがって、自分の思いのままに、神から遣わされた先駆者を扱ったのである。そうであれば、この世は彼の後に現われる「人の子」にも同じようにするであろう。

そこに現れ出るのは世を代表する王の存在論的空虚さに他ならない。そして彼はまさに我々の代表なのである。

＜会計報告＞

◎郵便振替口座 :01020-0-24987
◎口座名称 : 日本基督教団洛北教会
◎洛北教会 email : rakuhoku@eos.ocn.ne.jp

＜次週の案内＞

受難節前第2主日

2月12日

10時45分

説教 「休息を超えるもの」
岡本知之牧師

司式 石橋真人

聖書 マルコによる福音書
6章30～34節

讃美 321

奏楽 太田はるか

聖歌隊総会

2月当番役員 西村温美

＜集会統計＞

(1月28日～2月3日)

日	曜	集会	男	女	計
29	日	主日礼拝	25	31	56
		教会学校	7	6	13
		幼稚科	6	5	11
		小学科	0	1	1
		中高科	1	0	1
		入門講座	—	—	—
1	水	朝の聖研	2	8	10
		祈 禱 会	4	0	4